

大学図書館問題研究会東京地域グループ
2020/2021年度総会議案

1.	第1号議案	1
1.1.	2019/2020年度活動総括	1
1.2.	2019/2020年度決算報告・会計監査報告	3
2.	第2号議案	3
2.1.	2020/2021年度活動方針	3
2.2.	2020/2021年度予算案	4
2.3.	2020/2021年度地域グループ運営委員会及び会計監査人	4

1. 第1号議案

1.1. 2019/2020年度活動総括

① 特記事項

1. 編集小委員会からの依頼により、会報『大学の図書館』2月号の編集を担当した。
テーマ：これからどうなる大学図書館～変化に直面する現場職員の今～
2. 2020年10月開催予定の第51回全国大会（オンライン）実行委員会に運営委員5名、オブザーバ2名が参加している。

② 研究企画（担当：安達、高瀬）

例会を1回、関東地域グループ合同例会を1回開催した。

- 第1回例会
日時：2019年11月23日（土）14:30-16:30 ※終了後、懇親会を開催
会場：港区立神明いきいきプラザ（集会室A）
テーマ：「LibrarianMap」の紹介 + プレゼン大会：「私のお仕事2019」
参加者数：13名
- 関東地域グループ合同例会
日時：2020年2月9日（日）14:30-16:30 ※終了後、懇親会を開催
会場：港区立神明いきいきプラザ（集会室A）
テーマ：水害への備えおよび対処方法について
講師：青木 睦 准教授（国文学研究資料館）
共催：埼玉地域グループ、千葉地域グループ
参加者数：22名

③ 広報（担当：安達、下山、松原）

東京地域グループの情報を発信する手段として、地域グループニュースレター・地域グループメーリングリスト（以上地域グループ会員向け）、Webサイト・Twitter（以上2つは大図研非会員を含めた対外向けを含む）を使用し、またこれらの安定運用に努めた。

1. 東京地域グループニュースレターを3回発行した。

・246号(2019年10月) / 247号(2020年1月) / 248号(2020年6月)
なお、PDF版については、東京地域グループのWebサイト上で公開している
(<https://daitoken.com/tokyo/newsletter.html>)。

- 東京地域グループメーリングリスト(d-tokyo@daitoken.com)を用いて、例会等のお知らせを行った。なお、登録アドレス数は2020年6月20日現在で98件(アドレス数)(昨年度より6件減)である。
- Webサイト(<https://daitoken.com/tokyo>)にて、ニュースレター、運営委員会記録、例会のお知らせ等を掲載した。
- 東京地域グループ公式のTwitter(アカウント@dtk_tokyo)を活用し、当グループおよび大図研(他グループを含む)の活動PR等を行った。なお、ツイート数は合計162件(運用開始時からの累計)、フォロワー数は103名である(2020年6月20日現在)。
- また、当地域グループで運用しているこれら4つの手段の他、大学図書館問題研究会(全国)のメーリングリストへの投稿、および大図研Facebookグループへの掲載依頼を通じ、東京地域グループ主催の企画等周知に努めた。

④ 事務局(担当:高瀬,野寄)

2019/2020年度期首会員数は116名で、新規加入会員3名、他地域グループからの移籍会員0名(以上、増加3名)、退会会員は8名、2018/2019年度末会費未納除籍7名(減少15名)であった。現在の会員数は104名(2020年6月30日現在)である。

また、全国事務局組織担当からの依頼で、全国組織名簿および当地域グループ名簿間の会員情報の突合せを行った。

⑤ 会計(担当:青山,松原,山口)

- 地域グループ活動費については全国事務局会費徴収担当より2回(7月,3月)に分けて振込があった(6月にも振込予定)。過年度の未収金については全国委員会資料「会費長期(3年度分)未納者リスト」を基に会費徴収担当と連絡を取り合いながら実施した。
- 会計監査時に指摘のあった東京地域グループで所有する研究会誌の冊数確認を行った。
- 支出については、新型コロナウイルス感染症の影響で例会が予定より1回少なかったこと、運営委員会のオンライン実施等により予算案に対して支出減となった。

⑥ 地域グループ運営委員会活動報告(担当:立原)

- 下記の分担により東京地域グループの運営を行った。

- 代表:立原
- 副代表:山口
- 事務局(含:組織):高瀬,野寄
- 研究企画:安達,高瀬
- 広報:安達,下山,松原
- 会計:青山,松原,山口
- 全国委員:下山
- 全国大会協力WGメイン担当:山口,立原
- オブザーバ:石津,上村,野寄

- 2019年8月から2020年6月まで、以下のとおり地域グループ運営委員会を開催した。

回	年月日	開始時刻	終了時刻	会場
1	2019/8/22	19:00	21:15	デニーズ南新宿店

2	2019/9/25	19:00	21:15	オンライン
3	2019/10/24	19:00	21:00	ルノアールニュー新宿3丁目店
4	2019/11/20	19:00	21:10	オンライン
5	2019/12/19	19:00	21:00	ルノアールニュー新宿3丁目店
6	2020/1/29	19:00	20:50	オンライン
7	2020/2/26	19:50	21:20	オンライン
8	2020/3/18	19:00	21:00	オンライン
9	2020/6/10	19:00	21:10	オンライン

地域グループ運営委員会は月1回程度開催することを方針としていたが、2019/2020年度東京地域グループ総会による運営委員の決定が2019年8月3日だったため、運営委員会は8月から開催した。4月・5月は地域グループ代表の繁忙により運営委員会を招集することができず、グループウェア上のみで組織・会計・全国委員関係の各業務を実施することとなってしまった点については今年度の反省であり、次年度は計画的に運営委員会を開催できるよう留意したい。

なお、今年度も継続して、約2回に1回をオンラインで開催することを方針としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年2月以降は集合形式で開催することができず、オンラインのみでの開催となっている。オンライン開催の際はGoogleドキュメントを使用したテキストチャットのほか、3月からはビデオチャット（大学図書館問題研究会で契約しているZoomを使用）も併用している。

地域グループ運営委員会の議事要旨については、大学図書館問題研究会東京地域グループWebサイト（<http://www.daitoken.com/tokyo/>）にて公開している。

また、運営委員会の作業をスムーズに行うため、グループウェア Backlog（無料サービス）とOffice365を利用した。

⑦ 全国大会検討WG / 全国大会協力WG

2020年10月の東京開催に向けて開催日程や会場の選定について常任委員会を取りながら進めた。10/10-11に一橋講堂（千代田区）での開催とすることが決定し、施設予約も完了していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施形態を再検討し、日程はそのままですべてオンライン開催とすることとなった。会場や日程の選定については、MLを利用して複数の候補を挙げ、意見交換を行なった。なお、実行委員会の立ち上げ後に協力WGの立ち上げを予定していたが、未実施である。

1.2. 2019/2020年度 決算報告・会計監査報告 (別紙)

2. 第2号議案

2.1. 2020/2021年度 活動方針

① 研究企画

以下を目的として、年2回程度の講演会を実施する。また、会報『大学の図書館』編集を1号分担当し、東京地域グループをアピールする。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

なお、講演会の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインにより開催するものとし、新規会員の獲得や東京地域グループの認知度向上にも努める。

加えて、会員間の交流を深めることを目的として、会員限定のオンラインによる情報交換会を年 3 回程度実施する。

引き続き、会員からの意見をより企画に反映できるよう留意する。

② ニュースレター「d-tokyo : 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター」

以下を目的として、年 4 回程度の発行を目指す。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

また、2019/2020 年度に引き続き、印刷費・通信費の削減を図るため、(1)紙媒体の郵送、(2)電子版のみ、の選択肢を用意し、積極的に電子版のみの希望者を募る。

③ 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、引き続き会員向けとしてニュースレターとメーリングリスト、対外向けに Twitter を活用する。合わせて、必要に応じて大図研の他組織にて運営する広報手段への掲載依頼を行う。

特に、対外向けに運用するウェブサイトや SNS(当地域グループの Twitter, 全国組織の SNS)は不特定多数に当地域グループのみならず大図研を広く周知されることが可能であり、新規会員獲得に結びつけるための手段とも位置付ける。

④ 組織

全国組織との情報乖離がないよう常任委員会組織担当との連携をさらに強化する。

財政担当・広報担当とも密接な連携を図った上で、入会するメリットを具体的にアピールし、会員勧誘に努める。

⑤ 会計

引き続き、収支バランスの適正化を図る。また、過年度会費未納者の督促を行う。

⑥ 地域グループ運営委員会

月 1 回程度の打合せを行い、東京地域グループの運営を合議によって決定する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面はオンラインにより打ち合わせを実施する。

グループウェア Backlog, Office365 を継続して活用する。

2.2. 2020/2021 年度 予算案

(別紙)

2.3. 2020/2021 年度 地域グループ運営委員会及び会計監査人

※総会当日に提案するものとする。

以上